

# 日本共産党を伸ばして 市民の暮らし・福祉をさらに充実へ



市民のみなさんと日本共産党が一緒に要求

新年度予算で実現

### 子宮頸がんワクチン接種 などが全額公費負担に

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種が、2月から全額公費負担になります。

日本共産党は毎年夏に横浜市医師会などと懇談し、要望の高いワクチン接種助成を予算要望で求めてきました。

### 特養ホーム増設、 中学校給食などの実現を

特別養護老人ホームの増設、高い国民健康保険料や介護保険料の引き下げ、中学校給食の早期実現や30人以下学級の実施、小児医療費無料化の年齢引き上げなど、市民のみなさんから、切実な要望がたくさん寄せられています。

今春の市議会議員選挙は、市民が声をあげて、暮らしを守り政治を動かすチャンスです。日本共産党の議席が伸びれば、みなさんの願い実現の一番の力になります。

### 保育所増設などで4005人の受入増

保育所に入れない子どもがふえているなかで、一歩前進しました。国・県有地も含め、保育所の新設23か所等で2510人、40か所の市立保育所の増改築等で308人など保育所整備で、認可保育所の定員枠が3292人拡大。横浜保育室が助成増額などで661人の定員増、認可保育所の保育ママさん(家庭保育福祉員)も増やします。

日本共産党は昨年5月、国・県有地の活用や、保育施設の状態などを当該区に限らず案内するよう提案。新しく各区に配置される保育に関する相談員「保育コンシェルジュ」は、まさに要求そのものです。

児童虐待対策も、スクールソーシャルワーカーの配置など日本共産党の提案が実施されます。

### 学校にエアコン設置

市立の全小中高校等の普通教室に3年計画でエアコンが設置されます。58校分を今年の夏に間に合わせるため、補正予算が組まれます。

日本共産党は、蒸し風呂状態の教室を改善するよう、毎年要求してきました。

## 市民の願いに背を向ける 自・民・公・みんなの党

市民から出された請願に対する態度 (○は賛成、×は反対)

請 願	共産党	自民党	民主党	公明党	みんな
保育所の緊急増設*	○	×	×	×	×
国民健康保険等の引き下げ等**	○	×	×	×	×
子宮けい頸がん予防ワクチンの公費助成**	○	×	×	×	×
敬老バス制度の現状維持**	○	×	×	×	×
中学校給食の実施**	○	×	×	×	×
学童保育の充実・発展について**	○	×	×	×	×

\*2010年9月議会、\*\*2010年12月議会提出 注：みんな：みんなの党所属議員

「審議十数分、意見は1人朝日新聞(2010年12月12日付)は、38万人署名の学童保育の充実を求めた委員が審議について、このようない見出しで報じました。意見を述べた1人とは日本共産党の議員です。

このように、議会に出された市民のみなさんからの切実な願いに、自民・民主・公明・みんなの党は、まともな意見も言わずにことごとく反対してきました。これでは市民の暮らしをよくすることはできません。

### 無料法律相談

●と き：毎週水曜日午後1時30分～  
●と ころ：横浜市役所内日本共産党議員控室  
●連絡先：TEL045-671-3032

市政、法律、交通事故、年金、金融、土地、住宅、教育、その他お気軽にご相談ください。  
◎相談は同一案件につき3回までです。

要予約

# 日本共産党をのぼし、 福祉・暮らし優先の横浜市政に

くらしと地方自治、地方経済をたてなおすための「4つの転換」と横浜市政のめざす方向

今春は、4年に一回の横浜市議会議員、神奈川県議会議員、県知事選挙です。

くらしに身近な横浜市、神奈川県ですすむべき道を住民が選択する大切な選挙です。

日本共産党は、4つの転換をすすめるいっせいの地方選挙政策アピールを発表しました。

いま全国各地で、「地方切り捨て」政治をおしかえす住民の運動がひろがっています。

横浜市でも、市民のみなさんの運動と日本共産党が力をあわせ、一部ではあります。新年度予算案で子育て支援などで市政を動かし、くらしや福祉の切実な要求を実現しています。

日本共産党は、福祉・くらし優先、子育て・営業を応援する市政にするため、全力でがんばります。

- ### 第1の転換

#### 福祉とくらし最優先への転換

  - 特別養護老人ホームを増やします。
  - 国民健康保険料、介護保険料を引き下げます。
  - 保育所を増やし、待機児童をなくします。
  - 小児医療費無料化を小学校卒業までに引き上げ、所得制限をなくします。
  - 中学校給食を実施します。
  - 侵略戦争賛美の中学歴史教科書の公教育への持ち込みに反対します。
- ### 第2の転換

#### 地域に根ざした産業振興へ

  - 横浜駅周辺大改造計画や新市庁舎建設計画は見直します。
  - 中小企業・商店街向けの予算を増やします。
  - 職業訓練や職業紹介事業を充実させます。
  - 市民も業者も助かる住宅リフォーム助成制度をつくりまします。
- ### 第3の転換

#### TPP反対、農林漁業再生へ

  - TPPに反対し、都市農業をまもり育てます。
  - 市が率先して再生可能エネルギーを普及します。
  - ごみの発生抑制、生ごみの堆肥化をすすめます。
  - みどり税を廃止し、分割開発の規制などで緑を守ります。
- ### 第4の転換

#### 住民の声がとどく議会へ

  - 区協議会、地域協議会で市民参加と市民自治を拡充します。
  - 観光まがいの現行の公費による海外視察は廃止します。
  - 議員報酬(月97万円)を2割カットして、政令市平均並みにします。

### 国際平和都市として

- 市内米軍基地は早く返還を。
- 池子の米軍住宅建設に反対。
- ピースメッセンジャー都市として、広島・長崎平和式典などに市民の代表を。

日本共産党  
横浜市議員団